

# 7月25日 朝の勉強会 テーマ「喘息」 O先生

40歳代男性 [主 訴] 呼吸困難

[現病歴]：フィリピン在住で2日前から日本に旅行に来ていた。昨日夕方から、滞在中の姉の自宅で呼吸困難・喘鳴が出現し、翌日未明（0時頃）救急外来をwalk-inで受診した。

既往歴：気管支喘息

内服歴：この時点では正確に聴取できず

アレルギー：同上

言語：英語 付き添いの姉は片言の日本語ができる。

治療目標：呼吸困難の消失、体動、睡眠正常、日常生活正常、SPO<sub>2</sub>95%(room)以上、平常服薬・吸入で問題なし

ステップアップの目安：治療目標が1時間以内に達成できなければステップアップを考慮

ステップ	治療	対応の目安
1	短時間作用性β <sub>2</sub> 刺激薬吸入 (シムビコート追加吸入)	自宅で可能
2	短時間作用性β <sub>2</sub> 刺激薬吸入 ステロイド全身投与 酸素吸入 (短時間作用抗コリン薬吸入併用可)	2~4時間で反応不十分なし 1~2時間で反応なし →入院、ステップ3へ
3	短時間作用性β <sub>2</sub> 刺激薬吸入 ステロイド全身投与 酸素吸入 (短時間作用抗コリン薬吸入併用可)	1時間で反応なければ入院 重症化すればステップ4へ
4	追加で挿管・人工呼吸管理など	ICU管理

表 6-12 喘息増悪の強度と目安となる増悪治療ステップ  
PEF 値は、予測値または自己最良値との割合を示す。

増悪強度*	呼吸困難	動作	検査値の目安				増悪治療ステップ
			PEF	SpO <sub>2</sub>	PaO <sub>2</sub>	PaCO <sub>2</sub>	
軽度 (小発作)	急ぐと苦しい 動くと苦しい	ほぼ普通	80%以上	96%以上	正常	45 Torr 未満	増悪治療 ステップ1
中等度 (中発作)	苦しいが 横になれる	やや困難					
中等度 (中発作)	苦しくて 横になれない	かなり困難 かろうじて 歩ける	60~80%	91~95%	60 Torr 超	45 Torr 未満	増悪治療 ステップ2
高度 (大発作)	苦しくて 動けない	歩行不能 会話困難	60%未満	90%以下	60 Torr 以下	45 Torr 以上	増悪治療 ステップ3
重篤	呼吸減弱 チアノーゼ 呼吸停止	会話不能 体動不能 錯乱 意識障害 失禁	測定不能	90%以下	60 Torr 以下	45 Torr 以上	増悪治療 ステップ4

\*：増悪強度は主に呼吸困難の程度で判定する（他の項目は参考事項とする）。異なる増悪強度の症状が混在する場合は強い方をとる。



## Take home message

- 気管支喘息の増悪時は、本人の様子と動脈血液ガスから重症度評価を行う。
- 重症度に従って気管支拡張薬吸入・全身ステロイド投与を行いながら、1時間程度を目途に呼吸状態をチェックして、治療方針や入院の有無などを再度検討する